

Alfa Romeo 6C 2500 SS Berlinetta Aerodinamica (イタリア, 1939)

合理化

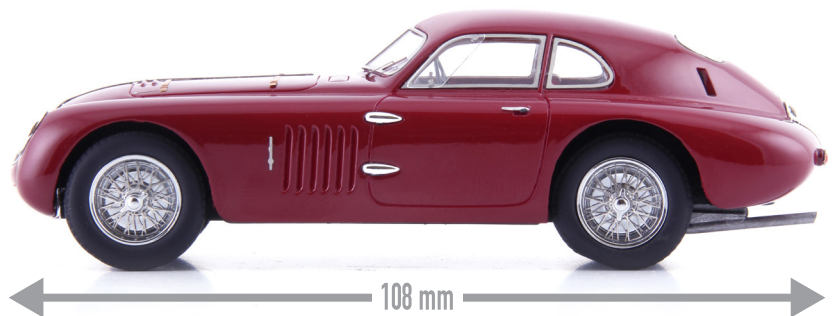
Scale 1:43

#04029

release

01/2021

limited edition 333 pcs.



1レースだけの出場

イタリアのメーカーアルファロメオは、1925年に"seicilindri"(6気筒)エンジンの製造を開始しましたが、1927年まで市場に発表しなかった。アルファロメオはエンジンの技術を継続的に進歩させた。排気量は当初1,487ccから1,700ccを超え、1939年には最終的に2,443ccに増加した。排気量が最大の6気筒エンジンは1930年代のショーケースプロジェクトとなり、スポーツカーメーカーとしての評判を高めていった。アルファロメオは1933年から独自のボディデザインを提供したが、エンジンのみを搭載したベアシャーシのみを注文するお客様はまだたくさんいた。105 hpのパフォーマンスを備えた最も強力なエンジンは、レースイベントでの使用に最適であり、アルファロメオはそれを認識していた。

1939年の春、最強の標準エンジンを搭載した3つのシャーシが、カロツェリアツーリング社に納入された。同社は、ミッレミアのための特別なボディの設計と製造を委託された。しかし、第二次世界大戦のた

め、イベントは短期間でキャンセルされた。代わりに、工場は1939年3月3日に北アフリカでの長距離レースに参加し、強い印象を残す勝利を収めました。この印象的なパフォーマンスの後、アルファロメオは毎年恒例の長距離レース「ル・マン24時間レース」での成功を確実に繰り返したいと考えた。その目的を確実にするため、アルファロメオはもう一度、カロツェリアツーリング社に、非常に低い空力抗力係数を持つ特別なボディを構築するように依頼した。

そのアルファロメオのユニークさと同じくらい見事に、1939年6月17-18日のルマン24時間レースでのパフォーマンスは期待外れだった。正式に命名されたアルファロメオ6C2500 SS ベリネッタツーリングは、レイモン ソメール/プリンス ピラの2人によって運転され、最初に点火装置のスパーク問題に悩まされ、最終的にエンジンの欠陥でレースを去ることになった。

AutoCult GmbH
Äußere Further Straße 3
90530 Wendelstein
Germany

電話番号 +49 / 9129 / 296 4280
ファックス +49 / 9129 / 296 4281
info@autocult.de

www.autocult-models.de